

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
(住んでよかつた)
と思える川西市に…

黒豆の声

広大な土地に
トラックがポツンと作業をしている
背高のっぽのクレーン車が
とっても小さく見える
草が生えはじめた
黒いフレコンバッグの山が
ずっと続いている
あれから5年8ヶ月
なぜ進まない？！復興

誰も住んでいない町に
信号だけが光っている
お買い物もできない
病院もまともにない
そんな町に帰れ・・・と
アベ自公政権が言う

わしは何も悪いことやっちゃいねえ
どうして
こんなことになってるんだ？！
帰っても何もすることがない（仕事）
何もすることがないくらい
辛いことはねえ

家族はみんなバラバラだ

また来いよ
忘れないでくれよ

帰っていく時
何度も何度も握手をしてくれる
大きく大きく手をふってくれる
バスが見えなくなるまで

原発事故を絶対忘れない

福島を忘れない
国民を捨てないで・・・切に願う

次号につづく・・・

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

<http://kurodamich.jp/exblog.jp>

宝塚の中学校給食を視察 「自校・直営」**充実ぶりを実感！川西でも早く実現を！**

「川西の中学校給食を実現する会」は11月9日、宝塚市立山手台中学校の給食を視察し、「うらやましい」「川西でも早く」との思いを強くしました。参加者はこどもを含め10名。教育委員会の担当課から、事前に出していった質問を含め、く分かりました。

「給食の先生」**「食事の見本に」**

宝塚市では中川ともこ市長が、小・中学校すべてで「自校直営方式の給食の実施」を堅持・推進しており、内容も分をおかずまわしている週3日は米飯で和食中心のかず、週2日も朝焼きパンに見合ったメニューを工夫されています。

直営から委託にされた時期

もあったようですが、現在は、

学年・クラスでもいろいろあり

ます。

だからこそ、職員がそれ

ぞれ個別に実態を見て工夫し

ています。

だからこそ、職員がそれ

ぞれ個別に実態を見て工夫し

■既裁定者の年金改定の改悪

現行	物価	
	プラス	マイナス
賃金	プラス	低い方に合わせる
マイナス	ゼロ改定	物価に合わせる

改悪後	物価	
	プラス	マイナス
賃金	プラス	低い方に合わせる
マイナス	賃金に合わせる	低い方に合わせる

改悪部分

「物価が上がれば、それに伴って年金受給額も上がり少くともそれまでの生活水準は維持できるといふ期待権を裏切るものではありませんか」

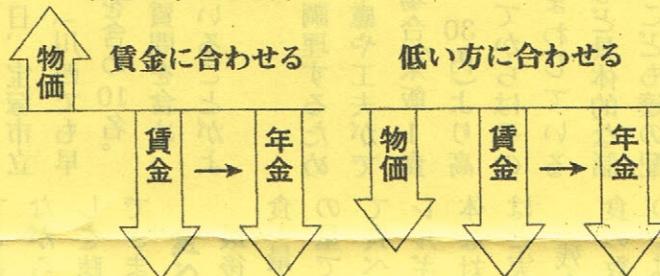
本会議質疑で日本共産党の高橋千鶴子議員はこう指摘しました。年金には、物価や賃金の変動に合わせて支給額を改定する「物価・賃金スライド」という仕組みがあります。

これまで物価と賃金がプラスで賃金のプラス幅が小さい場合、低い方の賃金に合わせて改定してきました。しかし、賃金がマイナスになつたときは、年金までマイナスにしてきました。ところが、今回の改定案では、こうした歯止めも取

物価・賃金スライドの改悪(受給者)

(A)物価が上がり賃金が下がる場合

(B)物価も賃金も下がる場合



(現行はすえ置き)

(現行は物価に合わせる)

(現行は賃金に合わせる)

(低い方に合わせる)

「安心」覆す年金カット

1日の衆院本会議で審議入りした「年金カット」法案(国民年金等改定法案)。「物価が上がり年金も上がり、生活を維持できる」という安心の仕組みを覆す内容です。(深山直人)

法案 衆院審議入り

低い方に合わせる

支給

これまで、物価が上がり賃金が下がった場合で、低い方に合わせて年金を抑え置きにとどまっています。「物価が上がり年金も上がり少くともそれまでの生活水準は維持できるといふ期待権を裏切るものではありませんか」

しかし、「年金カット」法案では、より低い方の賃金に合わせて給付が引き下げられます。物価が上がり年金は切り下がっているのに年金は切り下げられています。

法案では、より低い方の賃金に合わせて給付が引き下げられます。物価も賃金も下がった場合はどうか。現行では物価に合わせて引き下げます。

ところが法案では、より低い方に合わせて引き下げます。物価がマイナス1%で賃金がマイナス2%の場合、年金は2%引き下げられることになります。

これまで物価と賃金がプラスで賃金のプラス幅が小さい場合、低い方の賃金に合わせて改定してきました。しかし、賃金がマイナスになつたときは、年金までマイナスにしてきました。

ところが、今回の改定案では、こうした歯止めも取

物価高騰でも減

水準

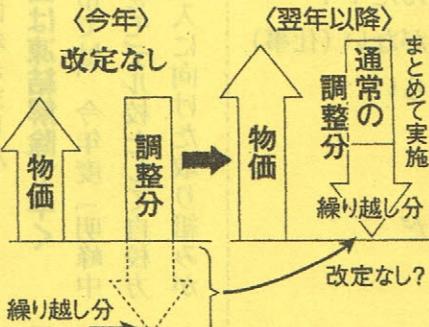
な打撃を及ぼすのが、消費税が10%に増税されたときです。安倍政権は19年10月に10%引き上げる計画です。これにより20年の物価は1%程度上昇すると見られます。物価も賃金も下がった場合はどうか。現行では物価に合わせて引き下げます。

ところが法案では、より低い方に合わせて引き下げます。物価がマイナス1%で賃金がマイナス2%の場合、年金は2%引き下げられることになります。年金給付額は実質1%程度の自減となります。

さらに22年度から24年度の3年間で年金給付額は1%程度の引き下げとなりますが、賃金が変わらなければ、年金はマイナス改定という悪夢も起りかねません。安倍首相は「賃金が上がる状況をつくっていく

削減

マクロ経済スライドの改悪



法案には、もう一つの改悪があります。年金を抑制する仕組み「マクロ経済スライド」です。

これまで、物価・賃金が上がって財政への影響分(調整率0.9%前後)を差し引いて年金の伸びを抑える仕組みです。自公政権が2004年、「100年安心」といって導入したものですが、ただし、高齢者の生活の安定に配慮してマイナス改定にはしないことがルール

途切れなく実施

途切れなく実施とあります。そのため法案では、実施できなかつた分を翌年度以降に持ち越し、物価や賃金が上がったとき、まとめて実施できるようにします。

これによって、年金抑制は事実上、中断なく実施することが可能になり、物価が上がったときでも、未実施の調整分によって年金が上がらなくなるのです。

現役世代への攻撃

負担

安倍首相は、改定ルール見直しについて、現役世代と年金受給世代との「負担の公平」と説明しています。

しかし、今回の改定によつて、若いときに低賃金になったときには大幅に引き下がります。

苦しんだ世代が高齢期になつたときには、所得減少に拍車をかけ、地域経済を縮小させる「負のスパイラル」を加速するだけです。

これまで、年金しか受け取れないことになります。年金世代だけでなく、現役世代の賃金が下がり、それに合わせて高齢者の年金も下げれば、国民の所得減少に拍車をかけ、地域経済を縮小させる「負のスパイラル」を加速するだけです。

「しんぶん赤旗」をお読みください。

お申し込みは黒田みちまで (TEL&FAX 790-3055)